資料4－2

津区域の平成30年度具体的対応方針（案）

区域の概要

・2025年の病床数の必要量と2017年度の病床機能報告を比較すると、病床総数は758床過剰となっている。
・病床機能別に比較すると、高度急性期機能及び急性期機能で873床過剰である一方、回復期機能については、390床が不足する。
・2025年に向け、急性期から回復期への病床機能の転換を進めるとともに、全体的なスケールダウンが必要である。
・救急医療体制の維持を確保しながら、各病院で重複する医療機能について一定の集約を検討する必要がある。

2017年病床機能報告（アンケート調査反映後）

医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等	計
三重大学医学部附属病院	410	245				655
三重中央医療センター	42	408				450
三重病院		58	100	100		258
一志病院			46		40	86
子ども心身発達医療センター				30		30
遠山病院		184				184
永井病院		128	56	15		199
武内病院		101		46		147
榊原温泉病院		91	48	158		297
七栗記念病院		68	150			218
大門病院		55	27	24		106
榊原白鳳病院		50		151		201
津生協病院		50		60	39	149
岩崎病院		47				47

2025年に向けた役割・医療機能ごとの病床数

担うべき医療機関としての役割	医療機能ごとの病床数 高度急性期	急性期	回復期	慢性期	介護保険施設等に移行（2023年）
全県的な高度急性期・急性期医療や政策医療全般に関する中心的な役割を担うとともに、大学病院として県内の医療人材の育成に関する役割を担う。 ☑救急　☑小児　☑周産期　☑災害					
津構想区域における急性期機能や救急医療の中心的な役割を担うとともに、総合母子周産期医療センターとして県内の周産期医療の中核医療機関としての役割を担う。 ☑救急　☑小児　☑周産期　☑災害					
小児医療中核病院として、構想区域を越えた広域的な医療を提供するとともに、難病医療・重症心身障害児者に対する拠点施設としての役割を担う。 □救急　☑小児　□周産期　□災害					
美杉・白山地域唯一の病院として、一般医療を提供するとともに、総合診療医を始めとするプライマリ・ケアを実践することができる人材の育成機関としての役割を担う。 □救急　□小児　□周産期　□災害					
子どものこころとからだの発達支援の拠点としての役割を担う。 □救急　☑小児　□周産期　□災害					

別途、今後の対応方針等について、提出を依頼中。

若葉病院		45	45	40		130						
吉田クリニック		32		48		80						
第二岩崎病院				96		96						48
倉本内科病院				50		50						
幸和病院				48		48						
井上内科病院				32		32						
小渕医院		19				19	消化器内科（胃腸内科）、小児科、外科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②緊急時に対応する機能、③終末期医療を担う機能を担う。					
ヤナセクリニック		19				19	産婦人科を標榜し、専門医療を担って病院の役割を補完する機能を担う。					
医療法人東海眼科		19				19	眼科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急時に対応する機能を担う。					
ゆり形成内科整形		19				19	内科、整形外科、形成外科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②緊急時に対応する機能、③在宅医療の拠点としての機能を担う。					
セントローズクリニック		19				19	産婦人科を標榜し、専門医療を担って病院の役割を補完する機能を担う。					
ながたレディースクリニック		12				12	産婦人科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急時に対応する機能を担う。					
千里クリニック			19			19	内科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②緊急時に対応する機能、③在宅医療の拠点としての機能、④終末期医療を担う機能を担う。					
いたみ眼科					2	2	過去1年間に入院患者を収容していないことから、今後の運用の見通しについて説明いただく予定					
イタミ内科・整形外科					4	4	過去1年間に入院患者を収容していないことから、今後の運用の見通しについて説明いただく予定					
医療法人　赤塚クリニック					19	19	過去1年間に入院患者を収容していないことから、今後の運用の見通しについて説明いただく予定					
計	452	1,669	491	898	104	3,614						（計）
							2025年の病床数の必要量	314	934	881	727	2,856
							2025年の病床数の必要量と2017年病床機能報告との差	138	735	−390	171	758

別途、今後の運用見通しについて、提出を依頼中。

※なお、この具体的対応方針については、毎年度、地域医療構想調整会議で協議し、とりまとめることとします。